

行政の窓

令和2年度 北海道の木材関連施策について

本道のカラマツ・トドマツなどの人工林が本格的な利用期を迎える中、道では、森林資源の循環利用及び木育の推進を通じ、北海道らしい豊かな森林づくりを進めるため、以下の施策に重点的に取り組みます。

▶ 林業イノベーションの推進

道内の人工林資源が利用期を迎え林業生産活動が活発化する見込みの中、森林の管理や造林・保育、伐採から利用までの各段階でICT等を活用した北海道らしい「林業イノベーション」を推進します。

✓ スマート林業構築推進事業費	12,799千円
ICTを活用した先進事例の普及PRや林業事業者等での試行への支援	
✓ クリーンラーチ増産体制確立対策	2,828千円
さし木苗の分業化や生産技術の指導を行うとともに、民間採種園の適切な保育管理を促進	
✓ 優良種苗確保事業費	51,085千円
指定採取源の保護管理や林業用種苗の需給調整、林業用種子貯蔵庫の施設整備・管理を行うとともに、特定母樹採種園の整備やコンテナ苗生産施設の導入を行う事業者等に支援	
✓ 先進的造林技術推進事業費	65,004千円
地域の実情に応じた低コスト造林モデルの普及、リモートセンシング技術を活用した効率的・省力的な設計・施行管理等の実践的な取組を推進	

▶ 都市木造化の促進

国内の中高層や大規模建築物においてCLTをはじめとする木材の利用が活発化する中、建築コスト低減に向けた検討会や普及PRなどを通じて、道内都市部での道産木材の利用拡大に取り組みます。

✓ HOKKAIDO WOOD推進事業費（森林整備等支援事業費の内数）	30,101千円
都市での木材利用の促進などによる道産木材の利用拡大やHOKKAIDO WOODの活用による新たな需要創出に向けた取組を促進	
✓ 道産建築材供給力強化対策事業費	2,337千円
地域関係者の連携による供給力強化に向けた取組のモデルを実証し、全道へ普及	

▶ 森林環境譲与税の活用に向けた市町村の支援

森林経営管理制度の導入等に伴い森林整備等に果たす市町村の役割が増加する中、森林整備や人材育成、木材利用の促進などの市町村による取組を積極的に支援します。

✓ 森林整備等支援事業費	302,609千円
市町村による取組（間伐等の森林整備、人材育成、木材利用の促進など）を積極的に支援	
✓ 森林整備市町村支援システムによる市町村支援	-
道が所有する森林資源などの情報を市町村と共有し活用する機能などを有する「森林整備市町村支援システム」を開発・提供することにより、市町村における業務負担の軽減と制度の適切な運用を支援	

（水産林務部林務局林業木材課林業木材係）